

前	奏	黙想	祈	禱	
招	詞	詩編 29:1~2	讚	美	歌 265 世びとの友となりて
讚	美	歌 54 よろこびの日よ	献	金	
祈	禱		讚	詠	547 いまささぐるそなえものを
信仰告白	使徒信条	566	黙	禱	
聖	書	出エジプト記 11:5~7	主の祈り		564
		ヨハネによる福音書 13:6~10	頌	栄	542 世をこぞりて
讚	美	歌 397 やまいのどこにも	祝	禱	
説	教	『小羊と洗足』	後	奏	

「その小羊は、傷のない一歳の雄でなければならない(出エジプト12:5)。「それは、この月の十四日まで取り分けておき、イスラエルの共同体の会衆が皆で夕暮れにそれを屠り、その血を取って、小羊を食べる家の入り口の二本の柱と鴨居に塗る(12:6~7)」。塗られた小羊の血によって破局を回避し、民は自由の身となる。小羊の血による「過越」の儀式(12:25)がイスラエル最大の祭りの源流。「この月」とはバビロニアの太陰暦で「ニサンの月(第一月)」のこと。春分の日直後の満月を14日と定めて過越祭をおこなう。忌避される「13日の金曜日」、太陽暦ではまるで間違いなので、気にすることはない。

共観福音書(マタイ・マルコ・ルカ)によれば木曜日の晩、イエスはパンを御自分の体に、葡萄酒を血に見立てて弟子たちに分け与えている。キリストの「命」が分かち与えられる聖晚餐は、「キリストが、わたしたちの過越の小羊として屠られた(1コリント5:7)」十字架と不可分な儀式。ところがヨハネ福音書は、この象徴的な晚餐を伝えておらず、その代わりに、イエスが弟子たちの足を洗う「洗足」を語っている。この洗足もまた実に印象的で、ヨハネ福音書から聞いた(見た)脳裏の残像は退色しない。

「さて、過越祭の前のことである。イエスは、この世から父のもとへ移る御自分の時が来たことを悟り、世にいる弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた(ヨハネ13:1)」。かつて父なる神のもとからこの世に来られ、そして「父のもとへ移る御自分の時が来た」。イエスは少し前にこう語っている。「わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう(12:32)」。だが弟子たちはしばらく世に残る。弟子に限らず「すべての人を引き寄せる」には幾らかの時間差があるらしい。「あの人は先に召されて神の御もとにいるだろうが、俺はまだこの地上にいる」が私たちの実感だろう。

夕食の席を立ちイエスは突然、弟子たちの足を洗い始めた(13:5)。「この上なく愛し抜かれた(13:1)」がゆえの洗足だが、ペトロにはそれが分からずひどく困惑する(13:6)。すると「イエスは答えて〔わたしのしていることは、今あなたに分かるまいが、後で、分かるようになる〕と言われた(13:7)」。しかしペトロは、弾かれたように足を引っ込め、「わたしの足など、決して洗わないでください(13:8)」と拒絶する。なぜならば「足を洗わせる」ことは大変な屈辱で、ユダヤ人同士は最下層の者にもそんなことはさせない。それを師たるイエスが弟子の足を洗うなど、まったく狂気の沙汰にはほかならない。

イエスは答えた。「もしわたしがあなたを洗わないなら、あなたはわたしと何のかかわりもないことになる(13:8)」。弟子たちはイエスとの親密性、人間に段差をつけないイエスらしさだと思ったか。だがこの洗足はただの謙遜ではない。汚れた足を洗い、汚れた心を清浄にし、人間の奥底にある「罪」を清めて、神との結びつきを快復させる「この上ない愛(13:1)」の力だ。イエスが「この世から父のもとへ移る(13:1)」前に、「過越の小羊として屠られる(1コリント5:7)」前に、弟子たちを清めたかった。

イエスは「ユダ(13:2)」のことを暗に示すように「あなたがたは清いのだが、皆が清いわけではない(ヨハネ13:10)」と付け加えた。イエスはユダの足を洗い、彼の罪は清められている。人間が犯すいかなる罪よりも、イエスの清めと十字架の贖罪(1コリント5:7)は勝っているが、ユダのエゴは遂行される。

イエスに足を洗ってもらい 心も 私の奥底も清められる とはいえ ろくでもなさの自覚は残る  
 という事は 共通した救いの清さではなく 一つひとつ違うろくでもなさに 私の実体がある

本日 2:30~4:30 分区委員会(南甲府教会)。3/14(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖研(YMCA)。  
 今週の教会カフェ(マリア・マルタの会)はお休み。牧師の動き:3/29(土)山梨ダルク三支援会の交流会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。